

## タブレットから代替用カラーモニターへの交換作業手順書

### ■概要

タブレットからカラーモニターHQJP-MC-4 へ交換した場合、画面レイアウトが崩れる現象が発生しています。

本マニュアルは、上記の不具合を修正するソフトにアップデートするためにタブレットから代替用カラーモニターへ交換する場合の『送信ユニットのファームウェアアップデート』及び『ご使用中の送信ユニットに代替用カラーモニターを接続』する手順書になります。

### ■対象商品

交換前		交換後		
タブレット	送信ユニット	代替用モニター	送信ユニット	
品番	品番	品番	品番	ソフト Ver.
TW08A-87Z8	HQJP-MUK-A2	HQJP-MC-4	設置品から変更なし (HQJP-MUK-A2)	10.40D

### ■目次

表紙	.....	1 ページ
送信ユニットのファームウェア アップデート手順	.....	2 ~ 8 ページ
送信ユニットと代替用カラーモニターとの通信接続手順	.....	9 ~ 10 ページ

### ■注意事項

- ・このソフトウェアおよび本マニュアル中に記載された手順は、関係者以外非開示です。
- ・本マニュアルは取り扱い(廃棄、紛失しない)に注意して下さい。

## <送信ユニットのファームウェア アップデート手順>

### 1. 事前準備とご注意

#### (1) 事前準備

- ・アップデートをするには更新用ファームウェアを入れたタブレットもしくは PC が必要となります。  
更新用ファームウェアは下記からダウンロードできます。

<https://q-partners.q-cells.jp/download/detail.php?id=142&c=004007>

2021-10-13 ソフトウェア更新ツール\_HQJP-MOTS-A2

- ・送信ユニットのアップデートは、タブレット、もしくは PC から通信で指示を出して行います。

#### <用意するもの>

- ① タブレットから代替用カラーモニターへの交換作業手順書(本資料)
- ② 送信ユニットのファームウェア更新用機器(タブレットもしくは PC)



**アップデート用ファームウェア**  
アップデート用ファームウェアを  
機器に保存してください。

- ③ AC アダプター(タブレット充電用)

**※本マニュアルでは、ファームウェア更新用機器としてタブレットを使用した場合で記載しています。**

#### (2) ご注意

- ・**アップデート中は機器の電源を切らないでください。**
- ・アップデート中は電力量等のデータは記録されません。それ以外のデータや設定には影響ありません。

## 2. ファームウェア更新用機器(タブレット)と送信ユニットの接続

- (1) ファームウェア更新用機器(タブレット)の電源を入れます。  
機器により起動方法は異なります。
- (2) ファームウェア更新用機器(タブレット)と設置されている送信ユニットの通信接続をします。

・通信接続の前に送信ユニット内のラベル、側面の定格ラベルで  
SSID、キー(MACアドレス有線)の情報を確認してください。  
(送信ユニットのSSIDは、SM\_AP+製造番号+識別記号 になります)



### ルーターなしで接続の場合

(送信ユニットと直接接続)

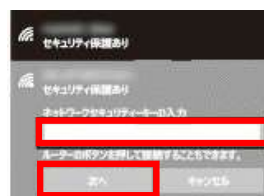
① アクションセンターを開き、ネットワークをタップすると電波状況が表示されます



② 送信ユニットのSSID(同じ製造番号が入っている)を選び、「接続」をタップする



③ ネットワークセキュリティキーの入力欄に送信ユニットのMACアドレス(有線)を入力し「次へ」をタップする



④ アクセスポイントの状況標記が「接続済み」になりタスクトレイの無線LANマークが変わります



### ルーターありで接続の場合

(ルーター経由で接続)

① アクションセンターを開き、ネットワークをタップすると電波状況が表示されます



② ご利用のルーターのSSIDを選び、「接続」をタップする



③ ネットワークセキュリティキーの入力欄にルーターのセキュリティキーを入力し「次へ」をタップする



④ アクセスポイントの状況標記が「接続済み」になりタスクトレイの無線LANマークが点灯状態になります

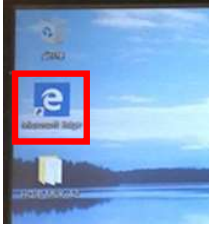


※ルーター接続で③の作業時にルーターで2.4GHzと5GHzがある場合は、2.4GHzのセキュリティキー(パスワード)を入力してください。

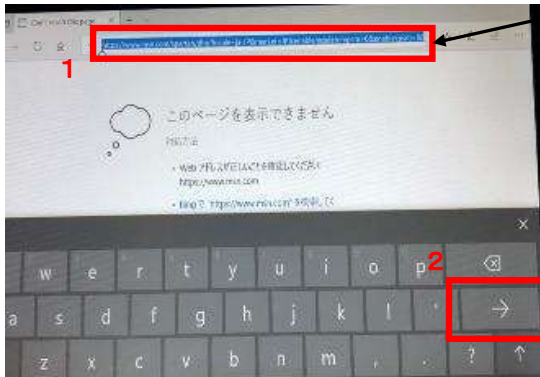
※ルーター接続の場合でもルーターを使用せず送信ユニットのAP機能を有効すれば、タブレットと接続可能です。  
(ファームウェアの更新完了後に設定をもとに戻す必要があります)

### (3) 太陽光発電画面を表示します。

- ① ファームウェア更新用機器(タブレット)のブラウザ(Edge)を起動します。



- ② 画面上部「1」のアドレス欄をタップし、a)もしくは、b)のいずれかのアドレスを入力します。  
入力後に右下「2」の(→)キーを押します。



以下をブラウザのアドレス欄に入力してください。

a) ルーターなしで接続の場合(送信ユニットと直接接続)  
<http://192.168.1.1/>

b) ルーターありで接続の場合(ルーター経由で接続)  
<http://solar-monitor/> もしくは、  
<http://solar-monitor2/>

※<http://>も省略せずに入力してください。

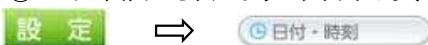
- ③ 起動画面が表示されたら「OK」ボタンを押します。



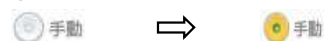
※接続できない場合、アドレス欄の入力が間違っている可能性がありますので、確認し再入力してください。  
再入力しても接続できない場合、ルーター、タブレット、送信ユニットを再起動して確認してください。

### (4) 通信接続していることを確認した後、時計設定を手動で更新します。 この作業で、送信ユニットが測定した電力データをメモリに保存します。

- ① メイン画面から次のようにクリックします。



- ② 日付・時刻設定画面が表示されたら、「手動」を選びます。



- ③ 日時などの変更は不要です。そのまま「決定」を押し、メイン画面に戻ります。

### 3. 送信ユニットのアップデート

(1) ファームウェア更新専用画面を表示します。

- ① 太陽光発電画面上部「1」のアドレス欄をタップし、a)もしくは、b)のいずれかのアドレスを入力します。  
入力後に右下「2」の(→)キーを押します。

以下をブラウザのアドレス欄に入力して遷移してください。

a) 直接接続(ルーター接続なし)の場合

`http://192.168.1.1:19800/fwupdate.html`

b) ルーター経由でDHCP接続の場合

`http://solar-monitor:19800/fwupdate.html` (ユニット番号が1の場合)

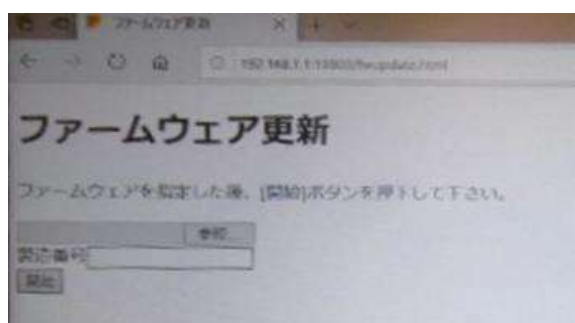
`http://solar-monitor2:19800/fwupdate.html` (ユニット番号が2の場合)

※`http://`も省略せずに入力してください。



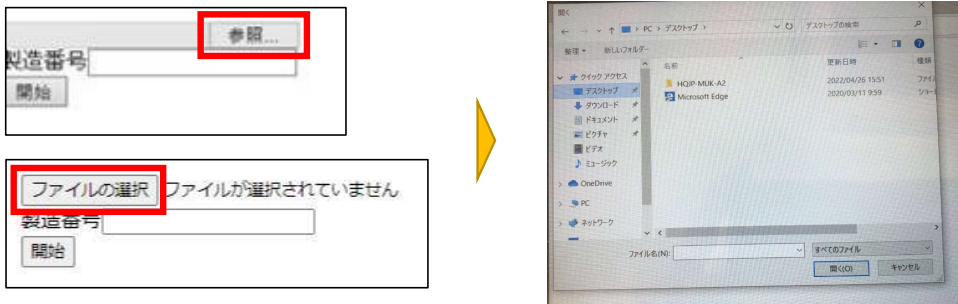
② ファームウェア更新の画面が表示されます。

※ブラウザのバージョン違いでファームウェア更新画面の表示が異なります。

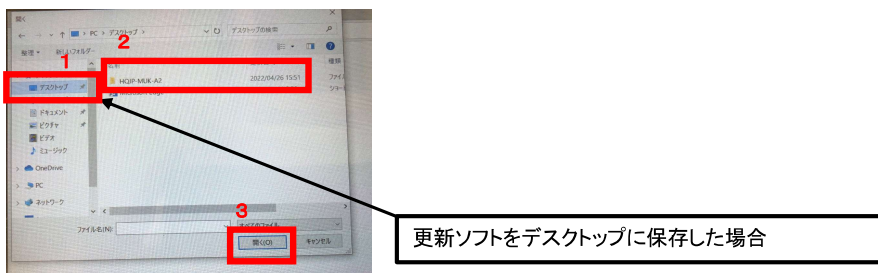


(2) 更新の設定を行います。

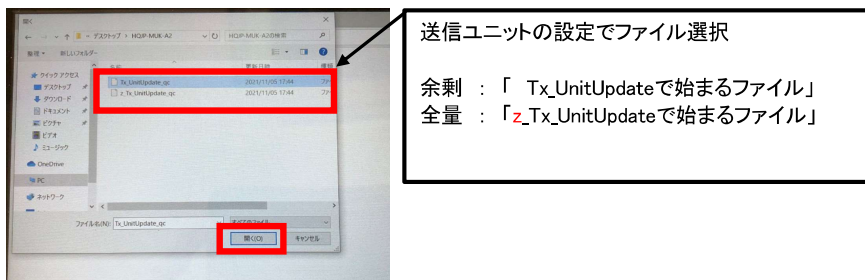
① [参照]もしくは、「ファイル選択」ボタンを押します。



② 「デスクトップ」 → 「使用するフォルダー」 → 「開く」を押します。



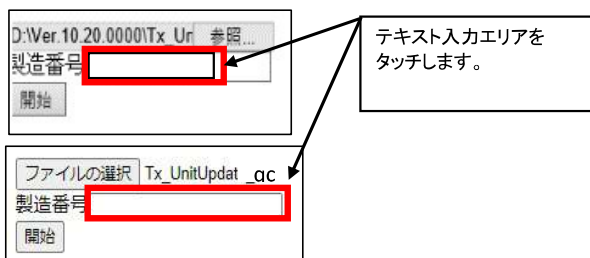
③ 更新するファイルを選択して「開く」ボタンを押します。



送信ユニットの設定でファイル選択  
 余剰 : 「 Tx\_UnitUpdateで始まるファイル」  
 全量 : 「z\_Tx\_UnitUpdateで始まるファイル」

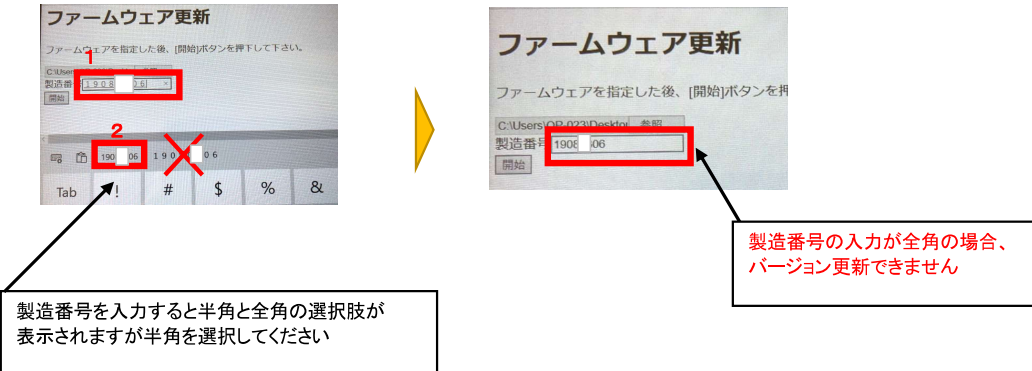
DIP-1	用途	OFF	ON
1	合断 / 全量切替	全断	全量
2	送信ユニット稼働切替	無電圧	無電圧
3	FR2485通信方式	物質	Modbus
4	標置4電圧	100V	200V
5	標置5電圧	100V	200V
6	標置10C1	不燃品	変用
7	標置20C1	不燃品	変用
8	標置30C1	不燃品	変用
9	標置40C1	不燃品	変用
10	標置50C1	不燃品	変用

④ 製造番号の欄をタップします。



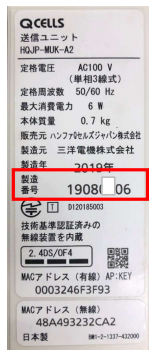
テキスト入力エリアを  
 タッチします。

⑤ 送信ユニットの製造番号(定格ラベルに記載)を半角で入力します。



製造番号を入力すると半角と全角の選択肢が表示されますが半角を選択してください

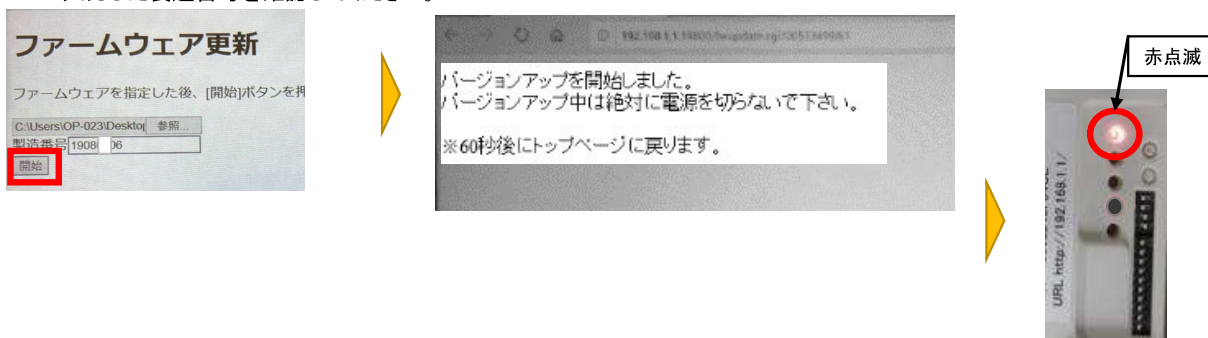
製造番号の入力が全角の場合、バージョン更新できません



### (3) 更新を開始します。

① [開始]ボタンを押してしばらくすると「バージョンアップを開始しました。」の画面になります。

※以下の画面にならず「ページが見つかりません」になる場合、通信接続状態および入力した製造番号を確認してください。



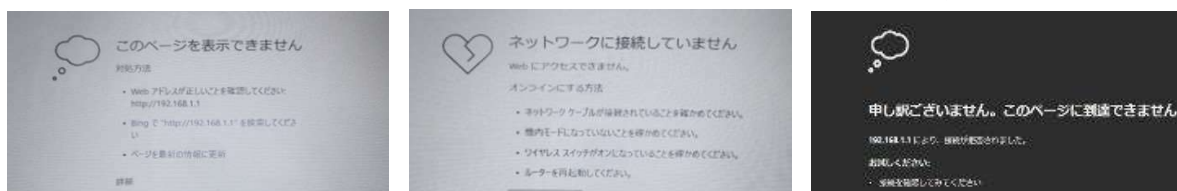
※ソフトバージョンアップを開始すると送信ユニットの状態ランプが赤点滅になります。

完了すると、一旦消灯し、再起動しますので、起動完了し、緑の点灯になるまでお待ちください。

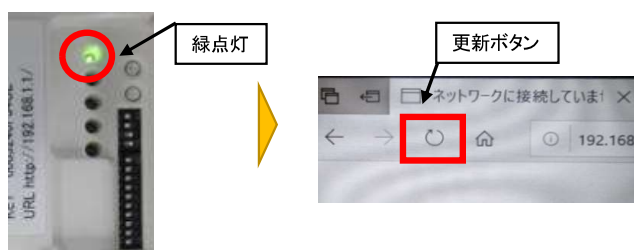
② 60秒後に自動的にトップページのURLに戻ります。

この時点で送信ユニットは再起動中のため、画面に「このページを表示できません」、

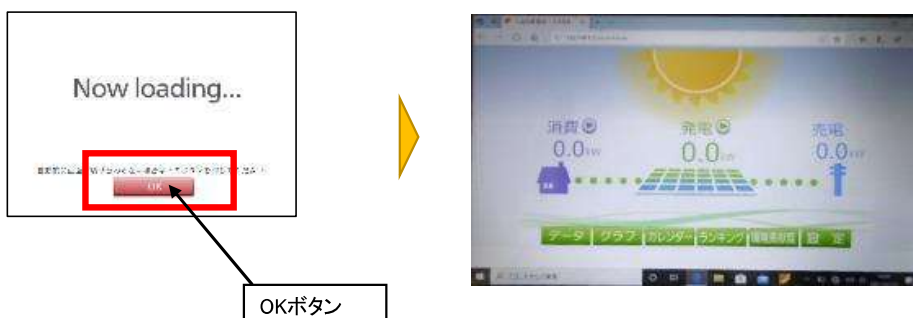
「ネットワークに接続していません」や「申し訳ございません。このページに到着できません」が表示されます。



③ しばらく待ち、送信ユニットの状態表示ランプが緑点灯で安定したら「更新」ボタンを押して画面を更新します。



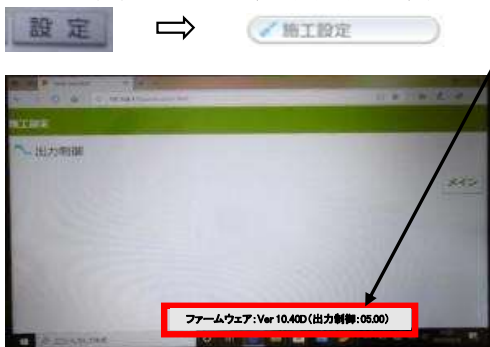
④ 起動画面が表示したら「OK」ボタンを押します。



(4) 送信ユニットのファームウェアバージョンを確認します。

(ファームウェアのバージョンがVer.10.40に更新できている場合、2パターンで確認できます)

・メイン画面から次のようをクリックします。



ページの上部にバージョンが表示されます。  
「ファームウェア: Ver 10.40D (出力制御: 05.00)」の表示になっていれば更新は完了です。

・バージョンがVer.xx.40に更新されている場合、「追加機能」ボタンが追加され、メイン画面から次のようをクリックします。



ページの上部にバージョンが表示されます。  
「ファームウェア: Ver 10.40D (出力制御: 05.00)」の表示になっていれば更新は完了です。

#### 4. 送信ユニットの通信設定をもとに戻す

ファームウェア更新前に通信設定等を変更していた場合は、もとに戻してください。

以上で、送信ユニットのアップデートは完了です。

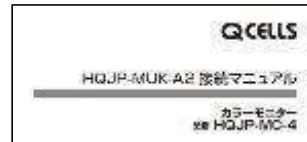


## <送信ユニットと代替用カラーモニターとの通信接続手順>

### 1. 代替用カラーモニターの通信接続

※カラーモニターに同梱されている説明書類を手元に用意して作業してください。

(1) カラーモニターに同梱の『HQJP-MUK-A2 接続マニュアル』を用意します。



※接続マニュアル記載の『ネットワーク設定画面の表示方法』を参照

(2) カラーモニターのACアダプターをコンセントに挿して電源を入れてください。  
(処理中の画面の後、ネットワーク設定画面が表示されます)

※ネットワークの接続設定を行う前に、必ず以下(3)の『接続先選択』をしないと送信ユニットと接続設定をしても接続できません

(3) 『接続先選択』を行います。

① 『↑戻る』ボタンを押します。  
設定画面(1/4)が表示されます。



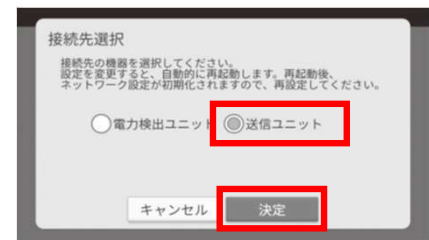
② ◀️ ボタンを押して設定画面(4/4)に切り替えます。



③ 『接続先選択』ボタンを押します。



- ④ 『送信ユニット』 にチェックし 『決定』 ボタンを押します。



< HQJ、CSJ、NX用画面 >

- ⑤再起動後、ネットワーク設定画面が表示されます。  
料金設定時間帯バーが表示されていないことを確認してください。



#### (4) カラーモニターと送信ユニットの通信接続をします。

※ルーターに無線設定ボタンがない、設定ができなかった場合は、『接続マニュアル』の『その他の接続方法』をお試しください。

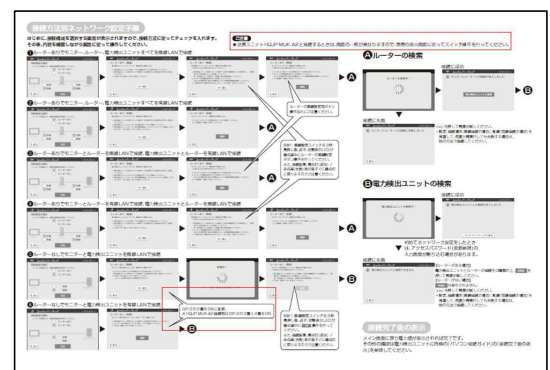
- ① 『設定をはじめます』 ボタンを押します。



- ②通信接続はルーター有無、有線/無線により6パターンで設定できます。

「ネットワーク設定ガイド」の裏面を参考にして  
モニターの表示画面指示に従い、接続設定をします。

※設定ガイドに記載の画面とモニターに表示される画面が一部異なります。  
必ずモニター表示画面に従い設定をしてください。



- ③接続設定が完了したら『メイン画面』 ボタンを押してください。  
メイン画面が表示されます。

**カラーモニターの表示画面に発電量等が正しく表示されたら作業は完了です。**

**カラーモニターに同梱されている説明書類はお客様にお渡しください。**